

「親の学び」次世代編実践協力校 実践事例紹介

～荒尾市立荒尾第三中学校での実践～



【玉名教育事務所】

【講座のテーマ】

将来の夢に向けて、今の自分に必要な力を考えよう。



さいころトークでアイスブレイク



仕事をしていく上で必要な力は？



グループの考えをみんなで共有



今の自分にできることは何だろう？

【講座の日程等】

実施日：令和5年（2023年）10月16日（月）・17日（火）
場 所：荒尾市立荒尾第三中学校（2年生各教室）
日 程：2校時・3校時・4校時（9：50～12：40）
対 象：第2学年1組～5組（5学級）185名
進行役：玉名教育事務所 社会教育主事 岩田 博史
荒尾市教育委員会 社会教育主事 富田 慎也

【講座の説明】

総合的な学習の時間の「社会体験学習」と関連付け、職場や地域社会に出て必要となる力について考えることをねらいとする。それぞれが必要と思う力に理由をつけて交流することで、友達の多様な考えにふれたり、今の自分を振り返ったりするきっかけとなる。また、今の自分にできること、やるべきことをアウトプットすることで、これからの学校生活につなげることもできる。

【プログラムの実際】

- 1 「親の学び」プログラム講座次世代編について（ねらい）
- 2 アイスブレイク
○さいころトーク（5～6人のグループトーク）
- 3 メインプログラム
①「多様な人たちと仕事をしていくために必要な力は？」
※ランキングシートを作成→班で共有→全体で共有
②「今の自分にできることは？」
※自分にできること、やるべきことを考え、宣言書を書く
- 4 まとめ
○「頭」「心」「体」を鍛え、自分の力を高める

【生徒の感想】

- さいころトークで、初めて聞く話も多かったので、友達のことを知ることができて良かった。
- 自分の仕事には何が必要なのか考えたことがなかったので、いい機会になった。将来について興味をもつことができた。
- みんなの意見や考えを聞くことができたし、自分の意見も言えて、それをみんなが聞いてくれてうれしかった。
- いろいろな意見とつながって、みんなで話し合うことができた。もっとこういう授業をしたいし、もっとたくさんの人の新しい一面を知りたい。
- 班の人が、自分とは全然違うことを言っていて、「なるほどなあ」と新しい視点で考えることができた。

【参観者（学校職員）の感想】

- 生徒たちも楽しんで参加していたように思う。
- 生徒が社会参加について考えるいい機会になった。
- 自分の進路に向けて、何が今必要であるかを生徒とともに考えることができ、自分自身もとても勉強になった。今後の授業にも活かしていきたい。